

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	高齢者の生理的特徴と変化		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	井上 海平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師が業を行う施術所やディサービスを含む介護施設に多い、高齢者の生理学的な特徴と変化を理解し、より効果的な施術が行えるようにすることが目的です。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験評価:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学改訂第4版(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
使用教材に指定している教科書「生理学 第4版(全国柔道整復学校協会編集)」を基に該当範囲の予習と復習を行うこと。適宜必要に応じて、図書館の書籍やJSTAGEなどで知識を深めることも必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
カリキュラム改訂により新設された科目で、より臨床に近い内容を求められる科目となります。試験的な目的よりも自身の将来像を意識して履修してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	加齢と変化	生理学 改訂第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	身体に加齢変化のメカニズム			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の身体的特徴①	生理学 改訂第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	加齢に伴う精神的・社会的側面の変化			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の身体的特徴②	生理学 改訂第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	老年期の発達課題			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の身体的特徴③	生理学 改訂第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	日常生活を支える基本的活動			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の疾患①	生理学 改訂第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
		各コマにおける授業予定	高齢者に好発する外傷			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の疾患②	生理学 改定第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと
		各コマにおける授業予定	高齢者に好発する内科的疾患		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の疾患③	生理学 改定第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと
		各コマにおける授業予定	高齢者に好発する退行性病変		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	生理学 改定第4版 柔道整復学・理論編 第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			